

地方創生に関する市民政策提案一覧表

資料2

番号	氏名	提案名	提案理由	提案内容	採用	総合戦略での反映	回 答
1	公募委員 松尾佑一郎	若年層の定住化推進	長野県下條村は若年層向けの集合住宅を建設し、格安の家賃を設定。さらに医療費は高校生まで無料、第3子以降は保育料も無料にした。小学校入学時に村で使える商品券を3万円、中学校時には6万円を祝い金として配布するなど子育て支援に関する施策を重点的に行っている。このような他市町村の良い事例を取り入れてほしいから	鹿島市でも市有地または点在する空き地のうち学校、商店に比較的近いところの物件を取得し、若年層向けの住宅を建設、定住してもらう施策をつくり、他市町村に先駆けて実行する。	一部採用	P. 48 ◆政策目標2 「定住促進と交流人口の拡大」 基本戦略② 「市営住宅建設事業」	ご提案のとおり、若者向けの住宅建設については、子育て世代の定住促進を図るため、市営住宅建設事業を総合戦略及び第六次総合計画に計上している。場所については今後、適地を検討していきたい。また医療費や保育料の無料化については、財源等の関係から優先順位として子育て相談の充実など、子育てしやすい環境づくりの方を優先させていきたいと考えている。
2		スポーツ合宿の取組み	スポーツ合宿をもっと盛り上げるため	現在、受け入れている大学は限られているので、関東大学陸連加盟のライバル校を積極的に受け入れることで、かなりPR効果がある。青山学院大学、法政大学、専修大学などを積極的に誘致する。	採用	P. 51 ◆政策目標2 「定住促進と交流人口の拡大」 基本戦略⑬ 「スポーツ合宿誘致事業」	ご提案のとおり、現在、関東大学陸連加盟の大学を中心に積極的にスポーツ合宿の誘致活動を今後も行っていく。 ただし、宿泊施設の関係から同じ時期に多くの大学の誘致は出来ないため、時期をずらして受け入れを行っている。
3		体験型の観光旅行の推進	交流人口を増加させるため	TVでモンゴルの生活体験をやっていた。他市でもイチョゴ狩りやサクランボなど旅行会社とタイアップして好評を得ている。鹿島市でもこのような体験型旅行を増やせないか。	採用	P. 50 ◆政策目標2 「定住促進と交流人口の拡大」 基本戦略⑧ 「観光客の市内回遊の仕組みづくり」	現在、鹿島市では、有明海の干潟など、鹿島市ならではの素材を活かし、観光客の市内回遊コースなどを設定し、実施している。その中でも、ご提案の体験型旅行も充実させていきたいと考えており、具体的には、ニューツーリズム推進協議会を中心に体験型観光の実践者や指導者の育成等に取り組むことにしている。

地方創生に関する市民政策提案一覧表

資料2

番号	氏名	提案名	提案理由	提案内容	採用	総合戦略での反映	回 答
4	農協 森田康子	近未来に人口を増やす	農業・漁業に後継者が少ないため	鹿島市への宿泊体験で、農業、畜産業、漁業を体験させ、鹿島市のよさを知ってもらうことで、他地区からの定住促進を図る。	採用	P. 50 ◆政策目標2 「定住促進と交流人口の拡大」 基本戦略⑧ 「観光客の市内回遊の仕組みづくり」	民泊などの宿泊施設を組み合わせたニューツーリズムとして体験型観光を推進している。
5	観光協会 中村雄一郎	里山資本主義に学ぶ移住者対策	空き家問題が深刻化する中、肥前浜宿の伝統的建造物群保存地区への居住希望者が増えている。受入れ先として先進地の調査や新たな施策を考える必要があるため	古民家にすみ、農業に従事したいという移住希望者に空き家や荒廃園を提供するシステム作りを行う。主体的に取り組むNPO法人等の立ち上げや先進地の調査を行う。鹿島市民の協力を得て、鹿島市版里山資本主義の確立により人口減少に歯止めをかける。	一部採用	P. 49 ◆政策目標2 「定住促進と交流人口の拡大」 基本戦略③ 「肥前浜宿空き町家入居促進事業」	移住希望者の更なる受入れのためには、受入れ先としての空き家確保や生活の基盤として仕事の提供などをセットで紹介する仕組みづくりが必要とされている。ご提案をきっかけとして、実際に、空き家の調査や受け入れ後の移住者への支援などを地元のNPO団体に一部委託を始めた。仕事の紹介など、まだやるべきことは多いが、今後ともなお一層、定住促進事業として進めていきたいと考えている。
6	鹿島青年会議所 峰松宏光	滞在型観光促進のための宿泊施設整備事業「まるごと体験ステイthe カマ」	鹿島市は豊富な観光資源があり、近年増加傾向にあるアジアからの観光客などをターゲットとしたより経済効果を生み出す滞在型観光の仕組みを考えるため	①道の駅にオートキャンプ場とキャンピングカー専用スペースの整備を行う。 ②肥前浜宿の古民家や市内の公民館施設などを活用した民泊施設の整備を図る。	一部採用	P. 51 ◆政策目標2 「定住促進と交流人口の拡大」 基本戦略⑪ 「道の駅鹿島整備事業」	①今年度、道の駅鹿島が重点道の駅に選定されたことをきっかけとして、道の駅整備構想の策定に取り組んでいる。この中にはオートキャンプ場の整備も検討され、ご提案のとおり、滞在型観光促進のため、県内・市内宿泊客の動向とそのニーズ・採算性を見極めつつ、慎重に検討を進めている。 ②民泊施設の整備については、体験型旅行の企画も含めて、ニューツーリズム推進協議会で研究している。

地方創生に関する市民政策提案一覧表

資料2

番号	氏名	提案名	提案理由	提案内容	採用	総合戦略での反映	回 答
7	佐賀県 さが 創生推進課 實松尊徳	移住促進における「ビジネスプランコンテスト」の導入について	移住促進にあたっては、地域にとって優位な人材を呼び込むことが必要になるため	ビジネスプランコンテストを実施し、優勝者には、市への移住を条件に一定額の助成を行う。(100万円程度)さらにビジネスプランの成長を支援する。	採用	P. 50 ◆政策目標2 「定住促進と交流人口の拡大」 基本戦略⑥ 「移住交流情報ガーデンでの移住相談会の開催」	国が地方移住政策の一環として設置した移住交流情報ガーデンにおいて、武雄市・嬉野市との合同で移住相談会を開催するのに伴い、ビジネス等のコンテストも同時に行う。はじめての取り組みでもあり、どのような効果があるのか、試験的に取り組んでいきたい。また、他の事例も参考にしながら今後とも研究を重ねていきたい。